

くすりのしおり

2646730M1032_1
外用剤

660453018
2010年9月改訂

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。このために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

商品名：サレックス軟膏0.05%

主成分：酪酸プロピオン酸ベタメタゾン（Betamethasone butyrate propionate）

剤形：白色～微黄色、半透明の油性の軟膏剤、（チューブ）淡青色に灰色の帯、（キヤップ）薄紫色

シート記載：



この薬の作用と効果について

ステロイド作用（抗炎症作用、免疫抑制作用など）により皮膚の炎症症状を緩和します。

通常、湿疹・皮膚炎群、乾癬、虫さされ、薬疹・中毒疹、痒疹群、紅皮症、紅斑症、ジベル薔薇色粒糠疹、掌蹠膿疱症、扁平紅色苔癬、慢性円板状エリテマトーデス、肉芽腫症、特発性色素性紫斑、円形脱毛症、肥厚性瘢痕・ケロイド、悪性リンパ腫、アミロイド苔癬、水疱症の治療に用いられます。

次のような方は使う前に必ず担当の医師と薬剤師に伝えてください。

- 以前に薬を使用して、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。湿疹性外耳道炎、潰瘍や熱傷・凍傷、細菌や真菌およびウイルス皮膚感染症や動物性皮膚疾患（疥癬、けじらみなど）がある。
- 妊娠または授乳中
- 他に薬を使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、大衆薬も含めて他に使用中の医薬品に注意してください）。

用法・用量（この薬の使い方）

- あなたの用法・用量は ：医療担当者記入
- 通常、1日1～数回適量を患部に塗ります。必ず指示された使用方法に従ってください。
- 眼の中に入らないように注意してください。もし誤って眼に入ったら水で洗い流してください。それでもおかしい感じがあれば、眼科医の診察を受けてください。
- 長期または大量に使用したり、密封法（ODT）を行うと、副作用が出やすくなります。オムツは密封法と同じ作用があるので、特に注意してください。
- 強い効果を持つ薬なので、免疫が強く抑制されることがあり、皮膚に細菌や真菌の感染症があらわれることがあります。患部は清潔に保ち、異常を感じた場合は医師に相談し、適切な治療を受けてください。
- 塗り忘れた場合は、気がついた時にできるだけ早く1回分を塗ってください。ただし、次に塗る時間が近いときは忘れた分を抜き、次回より指示通り使用してください。2回分を一度に使ってはいけません。
- 医師の指示なしに、自分の判断で使うのを止めないでください。

生活上の注意

- 化粧下やひげそり後などに使用しないでください。

この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として、皮膚の刺激感、発疹、毛のう炎・せつ、皮膚萎縮、ステロイド潮紅・毛細血管拡張、ステロイドざ瘡（にきび）、接触性皮膚炎などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診察を受けてください。

- まぶしいまたはかすんで見える、眼が乾く、眼の痛み[眼圧亢進]
- 激しい眼痛、頭痛、急激な視力低下[緑内障]
- 視界がまぶしすぎる、霞む、視力低下[後のう白内障]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

保管方法その他

- 乳幼児、小児の手の届かないところで、直射日光、高温、湿気を避けて保管してください。
- 薬が残った場合、保管しないで廃棄してください。廃棄については受け取った薬局に相談してください。

医療担当者記入欄 年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、医療専門家向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。